

# VOICES 声 みんなの

2013(平成 25)年 7 月 25 日発行 第 3 号 (毎月 25 日発行)

社会福祉法人  
サンフレンズ 地域福祉推進室広報紙

〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-33-10

☎ 03-3394-9833 Fax 03-3394-9834

メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp

ホームページ <http://www.3friends.or.jp/>



## 一生懸命ってカッコイイ 和泉大正乙女楽団 セシオン杉並で熱演

和泉ふれあいの家の大正琴クラブ・和泉大正乙女楽団が、杉いき連（杉並区いきいきクラブ連合会）納涼福祉大会で、『浜千鳥』『知床旅情』『王将』『君の名は』アンコール『私の青空』の 5 曲を熱演。この場を用意してくださった杉いき連の皆様、応援に駆け付けてくださった多くの皆様に感謝申し上げます。7 月 16 日(火) セシオン杉並大ホール

### 大正琴、あなたもやってみませんか？

村田英雄さんの歌った『人生劇場』等、古賀政男さんの作品で耳にしたことのある懐かしい音色……。大正琴は、その名の通り大正時代にタイプライターにヒントを得て日本で発明され、家庭用に普及した楽器です。左手の指でピアノのように鍵盤を押し、右手でギターのように弦をはじきます。鍵盤には数字がふつてあり、楽譜にある数字を追って順に鍵盤を押しつければ、すぐにメロディーが弾けてしまうので、お玉杓子(音符)が読めなくても大丈夫。麻雀やパソコンと同じく、指を動かしたり、指先に刺激が与えられるなどの点から、高齢者の心身の健康維持や認知症予防に良いと言われています。

地域福祉推進室では、大正琴を高齢者の元気づくり活動に取り入れたいと考え、今号写真の和泉ふれあいの家の他、不定期ながら、永福ふれあいの家、特別養護老人ホーム上井草園、ゆうゆう高円寺東館等に出向いて、大正琴クラブの援助を開始しました。それぞれそのクラブでは、参加者の上達レベルに応じた練習指導の他、楽器入手の援助、楽器の調整、発表会の企画などを行っていきたく考えています。初心者の方も大歓迎。参加されている方のほとんどが、初めて大正琴に触れた方です。「私もやってみたい」「うちの施設でも取り入れてみたい」「演奏を聴かせて」等の声が増えてくると嬉しいですね。お気軽にお声掛けください。

なお、去る 6 月には、本紙読者の方から「地域福祉推進室の大正琴クラブ援助活動のために」と、法人に対し寄付金 2 万円を頂戴いたしました。その他にも、中古大正琴の寄付 1 台がありました。応援ありがとうございます。

# 実習生OB会が現役実習生の悩みの相談にのります

## ～サンフレンズ実習生OB会レポート～



オジサンもいるぞ！通信課程で資格取得を目指す人も多いので、生まれたての実習生OB会と言えども、構成年齢は幅広いんです。

地域福祉推進室では6月から実習生受入態勢整備プロジェクトを開始し、社会福祉士実習、介護福祉士実習と、実習種別ごとに、実習生が満足できる受入への改善運動を進めています。ここには実習指導にあたる職員だけでなく、プロジェクトの期間に実習をする学生さんや学校の実習担当の先生方にも参加していただきながら、広く意見をいただいています。若い現場職員たちの熱意もたっぷり感じられます。今後も、教職課程の介護等体験、中学生職場体験、介護職員基礎研修実習についても、受入態勢整備プロジェクトを進めていく予定です。さてそんな折に、社会福祉士実習を修了したOB達が、現役実習生の悩み相談に協力して下さることになりました。

現場実習は、学生が職員・利用者と一定期間を共に過ごしながら、学校の講義では知りえない様々な場面に出会います。学生にとっては、未体験の環境を短期間で理解・適応しなければならないという大きなプレッシャーがあり、精神的・体力的にマイってしまふことがよくあります。そのような場合、実習生は、実習指導者や学校に相談しにくく、孤立無援の状態に悩むことも少なくありません。

平成23年度、和泉ふれあいの家で社会福祉士実習を修了した学生達がOB会を立ち上げました。OB会の主な活動には「国家試験受験対策」「各自の活動分野からの近況報告・情報交換」と並んで、**同じ立場を自らも経験している「後輩実習生の悩み相談」があります。**それぞれが社会人であるため、年に1～2回集まれる程度の緩やかな組織ではありますが、メール等での連絡を駆使しながら、昨年度は、現役実習生との意見交換会を実現して下さった他、実習生の悩み相談1件について真摯に対応して下さいました。

今年度、6月と7月の2回に亘ってOB会が開催されたので、法人の実習受入態勢整備に取り掛かっている地域福祉推進室として良い連携を求めて参加させていただきました。昨年秋以来の開催で、昨年度実習を修了したメンバーも新しく加わり、近況報告ではメンバーのうち3人が社会福祉士試験に合格し、また新しく介護保険事業所を起業したメンバーがいる等、うれしいニュースもありました。**「後輩実習生の悩み相談」については、今年度から、対象を和泉ふれあいの家だけでなく社会福祉法人サンフレンズの事業所全体に拡大して取り組んで下さることが可能になりました。**対象の拡大にあたっては、これまでよりもしっかりした仕組みづくりが必要になり、以下の仕組みについて取り決めをしました。

- 会の名称を、サンフレンズ実習生OB会（旧：和泉ふれあいの家実習生OB会）とします。
- 相談対象は、社会福祉法人サンフレンズの事業所で社会福祉士実習を行う実習生とします。実習を受ける学生に対し、実習指導者がオリエンテーション時等にOB会の活動内容をお知らせします。
- 相談の方法は、初回のみメール(3friends.ob@gmail.com)になります。その後については、メール、電話、面談等、可能な限り実習生が求める方法で対応します。
- OB会の相談担当（現在4名）の内の1名が代表して相談に応じますが、相談内容は4名で共有し、アドバイスを寄せ合います。
- 相談にあたっては、実習生のプライバシーを守ります。OB会に相談したことや相談の内容について、実習担当者、事業所、法人、学校に対して伝えるか否かは、学生の希望に応じて行います。
- 相談は、実習への臨み方や考え方に対するOBとしての解釈・助言の範囲とし、実習指導者、事業所、法人、学校に対する意見・要望・苦情を代弁したり、それに介入したりするものではありません。その際は事業所・法人・学校の意見・要望・苦情窓口を紹介します。
- 相談内容は、当該年度が終わった際に、個人や施設が特定できないように一般化し、OB会から法人に対する意見・提言を添えて報告します。



## 連載 この人・この曲

### ～第1回 堀季子さん『祇園小唄』～

上井草園の大正琴クラブで頑張っている堀季子さんは、昭和4年、滋賀県琵琶湖畔生まれの京都東山育ち。実家は酒屋さん。9人兄妹の末っ子で「すえこ」と名づけられました。お兄さんがクラシック楽器のファゴット奏者、お姉さんがピアノの先生という音楽家族。堀さんは「私は音楽はダメよ」と謙遜されますが、よくよくお話をお聞きすれば三味線を弾いていらっしやっただお母さんから手ほどきを受けたとのこと

(なるほど、大正琴を弾く時の右手のリズムが力強い訳です)。ところが、堅物だったお父さんからは「三味線は芸者がやるもの」と叱られ、隠れながら弾いていたそうです。



和泉ふれあいの家じゃないヨ。上井草園でも大正琴に一生懸命取り組まれる姿が見られます。7月の練習曲は『たなばたさま』でした。

さて、「東山」「芸者さん」とくれば、藤本二三吉（ふじもとふみきち）の歌唱で有名な『祇園小唄』。そういえば、7月は祇園祭の真っ最中ですね。

- 一 月はおぼろに東山 霞む夜毎のかがり火に 夢もいざよう紅桜 しのお思いを振袖に 祇園恋しやだらりの帯よ
- 二 夏は河原の夕涼み 白い襟あし ぼんぼりに かくす涙の口紅も 燃えて身を焼く大文字 祇園恋しやだらりの帯よ
- 三 鴨の河原の水やせて 咽ぶ瀬音に鐘の声 枯れた柳に秋風が 泣くよ今宵も夜もすがら 祇園恋しやだらりの帯よ
- 四 雪はしとしとまる窓に つもる逢うせの差し向かい 灯影つめたく小夜ふけて もやい枕に川千鳥 祇園恋しやだらりの帯よ

東京生まれの作家・長田幹彦（ながたみきひこ）は、たびたび京都を訪れ、祇園を舞台とした情話小説を数多く執筆しました。昭和3年、祇園の茶屋「吉（よし）うた」に滞在していたとき作ったのがこの歌詞。昭和5年、映画プロダクション・マキノ映画が長田幹彦の小説『絵日傘』を映画化することになり、その主題歌として『祇園小唄』が使われることになりました。

作曲は、浅草オペラの『君恋し』等の作者として知られる佐々紅華（さっさこうか）。主題歌といっても、当時はまだ無声映画の時代ですから画面から歌が流れるわけではなく、舞妓姿の女優さんが字幕に合わせてスクリーン脇で歌うという興行形態がとられました。これが大成功で、『祇園小唄』は一躍全国で愛唱されるようになりました。一般販売されるようになってから間もないレコードでは、声量豊かな芸者歌手・藤本二三吉（ふじもとふみきち）が吹き込んだものが、ビクターから発売されました。また、京舞井上流四世・井上八千代が振り付けた舞は、今も京の花街を代表する舞踊になっています。

歌詞には「東山」「祇園」「大文字」「鴨の河原」といった京都の地名や風物詩が散りばめられ、「振袖」「だらりの帯」「口紅」などの舞妓さんを連想させる語句も入っています。「祇園」は鴨川から八坂神社に至る四条通沿い一帯の呼び名で、そのうちのかなりの部分が京都を代表する花街を形成しています。八坂神社の旧称である祇園社から出た呼び方で、平安時代末期～鎌倉時代初期から門前町が形成され始めたといえます。1番から4番の歌詞に繰り返される「だらりの帯」とは、京都の舞妓が着る振袖のだらり結びにした帯を指します。舞妓の初期における髪型は「割れしのぶ」。店出しから間もない年少の舞妓が結う鬘（まげ）で、「ありまち鹿の子」や「鹿の子留め」など特徴的な髪飾りが目を引く華やかで愛らしい髪型。歌詞にある「しのぶ思いを振袖に」も、この舞妓の髪型の名称と無関係ではないでしょう。

昭和36年（1961）11月23日、「吉うた」の二代目女将が奔走して、東山区の円山公園・瓢箪池西北角に、この歌の歌碑が佐々紅華の譜面銅板とともに設置されました。

## 出張公開音楽会『SONGS・みんなの声』

ご用命は、☎394-9833

地域福祉推進室の文化発信事業として、法人内外の地域施設・地域団体とのコラボレーション(協働)で出張公開音楽会『SONGS・みんなの声』を随時企画・開催しています。

古き良き時代の歌の数々…、その歌にまつわるエピソードなどを語り合いながら、ギター、ピアノ、アコーディオン等の生伴奏で歌います。皆さんが一斉に歌うので、上手い下手は気にしなくて大丈夫。歌の好きな方ならどなたでもどうぞ。たくさん歌って、たくさん笑って、元気になるひとときです。

8月・9月は昭和を代表する作曲家である万城目正さん、古関裕而さん、古賀政男さんを特集。「楽しい声楽」では、声楽家・小岩井雅人さんをゲストに迎えての1時間、「ギターで歌おう」では、ギター・デュオで伴奏します。



※参加ご希望の方は、1週間程度前にそれぞれの会場にお申し込みください。

- 上井草ふれあいの家(上井草 3-33-10/3394-9831)  
8月20日(火) 14:00~「かへり船/終戦記念日特集」  
9月27日(金) 14:00~「長崎の鐘/古関裕而特集」
- ゆうゆう方南館(方南 1-51-7/3324-1171)  
8月31日(土) 13:30~「長崎の鐘/古関裕而特集」
- 梅里一丁目町会敬寿会(センオン杉並) ※町会会員への公開になります  
9月1日(日) 13:30~「三波・村田・春日・三橋/演歌四天王特集」
- ゆうゆう堀ノ内松ノ木館(松ノ木 2-38-6/3315-7760)  
9月8日(日) 12:00~「長崎の鐘/古関裕而特集」
- さくらサロン(和泉 4-9-5 杉本ビル 101/予約不要)  
9月11日(水) 13:00~「アコーディオンで歌おう秋の歌」
- 方南ふれあいの家(方南 1-52-14/5355-0611)  
9月14日(土) 13:30~「影を慕ひて/古賀政男特集」
- 方南区民集会所(方南 1-27-8/3322-4225)  
9月16日(月) 13:30~「長崎の鐘/古関裕而特集」  
お問合せ: 和泉一たかさご会会長・安野三郎(5930-7252)
- 松ノ木ふれあいの家(松ノ木 2-14-3/3318-2660)  
9月17日(火) 14:20~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
- ふれあいサロン上井草(上井草 2-35-2-205/5303-4246)  
8月30日(金) 12:00~「ギターで歌おう夏の歌」  
9月27日(金) 12:00~「ギターで歌おう秋の歌」

- 和田ふれあいの家(和田 3-52-4/3312-9556)  
8月2日(金) 13:45~「リンゴの唄/万城目正特集」  
8月20日(火) 11:00~「東京音頭/芸者歌手特集」  
9月12日(木) 13:45~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
- 和泉ふれあいの家(和泉 4-40-31/3321-4808)  
8月5日(月) 11:15~「リンゴの唄/万城目正特集」  
8月13日(火) 11:15~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」  
8月16日(金) 11:15~「かへり船/終戦記念日特集」  
9月7日(土) 11:15~「長崎の鐘/古関裕而特集」  
9月17日(火) 11:15~「影を慕ひて/古賀政男特集」
- ゆうゆう高円寺東館(高円寺南 1-7-22/3315-1816)  
8月7日(水) 13:30~「三波春夫・村田英雄特集」  
9月4日(水) 13:30~ 内容未定
- 永福ふれあいの家(永福 2-14-20/3327-5811)  
8月12日(月) 13:30~「かへり船/終戦記念日特集」  
8月16日(金) 13:30~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」  
9月13日(月) 13:30~「長崎の鐘/古関裕而特集」
- 大宮ふれあいの家(堀ノ内 1-16-38/5377-7025)  
8月13日(火) 13:45~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」  
8月28日(水) 13:45~「かへり船/終戦記念日特集」  
9月9日(月) 13:45~「長崎の鐘/古関裕而特集」  
※デイサービス利用者・見学者への公開になります
- 上井草園(上井草 3-33-10/3394-1094)  
8月15日(木) 15:00~「かへり船/終戦記念日特集」  
8月23日(金) 10:30~「リンゴの唄/万城目正特集」  
9月5日(木) 15:00~「長崎の鐘/古関裕而特集」  
9月24日(火) 10:30~「アコーディオンで歌おう秋の歌」

## 大正琴公開講座

### 8月「知床旅情」/9月「月の沙漠」を弾こう

月2回、和泉ふれあいの家の大正琴講座を一般公開しています。参加費は、楽譜代・お茶代として1回200円。大正琴はお貸しします(持ち込みも可)。また、楽器購入についてのご相談にも応じます。ご参加希望の日の1週間程度前にお申し込みください。

8月14日(水)、8月23日(金)、9月6日(金)、9月18日(水) 各日とも13:30~15:30  
会場: 和泉ふれあいの家(和泉 4-40-31/3321-4808) ※今後、ゆうゆう高円寺東館でも毎月第1水曜日に開催予定です。

## 編集後記

今年1月に初めて体験した尿管結石による痛み。何度か通院して、その後は何もなくて安心していただけるところ、7月3日(水)、半ばぶりに再発。出勤してすぐ、のたうち回る程の激痛となり、和泉ふれあいの家とゆうゆう高円寺東館への出張を急遽中止させていただきました。それぞれ振替日を設け、再訪の機会を用意していただきました。

誠に迷惑をおかけしました。